

低濃度アトロピン0.01%点眼薬が選ばれる理由とは？

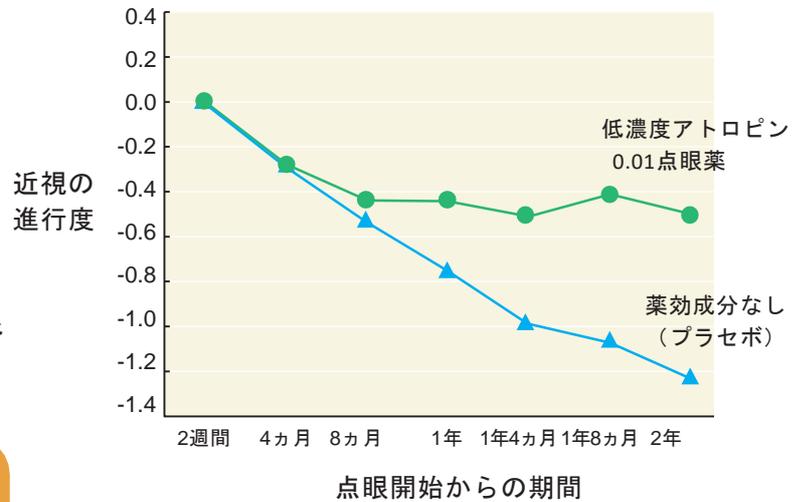
低濃度アトロピン0.01%点眼薬は、近視の進行を遅らせる（眼軸長の進展を抑制する）という点で統計的にも臨床的にも有意義な効果が確認されている治療法の一つです。

□ 重篤な副作用の報告はありません。※

* この薬の本来の作用により、一時的に瞳孔（黒目）が大きくなりまぶしく感じますが、数時間で元に戻りますのでご心配ありません。

□ 近視の進行を平均約60%軽減させる 良好な点眼薬と言われております。※

低濃度アトロピン0.01%点眼薬は、最適な超低濃度（0.01%）のアトロピンを点眼することにより、近視の進行スピードを効果的に抑えると同時にアトロピン1%点眼薬のような不快な副作用を回避します。



- 低濃度アトロピン0.01%点眼薬：
2年に渡る近視進行度 → 平均 -0.49D
- ▲ 薬効成分なし（プラセボ）：
2年に渡る近視進行度 → 平均 -1.20D

低濃度アトロピン0.01%点眼薬は安全ですか？

シンガポール国立眼科センター（SNEC）の研究によりますと、アトロピン0.01%の効果は点眼を2年間継続した後によるものです。※

1. アレルギー性結膜炎及び皮膚炎の報告はありませんでした。
2. 眼圧（IOP: Intraocular eye pressure）に影響を与えないとの報告でした。
3. 白内障を形成するとの報告はありませんでした。
4. 点眼終了後も目の遠近調節機能の低下、また瞳孔がひらき続けてしまうという報告はありませんでした。
5. 電気生理学上、網膜機能に影響を与えるという報告はありませんでした。



参考文献

- ※ Chia A, Chua WH, Wen L, Fong A, Goon YY, Tan D. Atropine for the treatment of childhood myopia: changes after stopping atropine 0.01%, 0.1% and 0.5% (小児近視治療用アトロピンについて、アトロピン0.01%、0.1%、及び0.5%を点眼終了後の変化) Am J Ophthalmol. 2014 Feb (眼科：2014年2月) ;157(2):451-457. e1. doi: 10.1016/j.ajo.2013.09.020
- Chia A, Chua WH, Cheung YB, Wong WL, Lingham A, Fong A, Tan D. Atropine for the treatment of childhood myopia: safety and efficacy of 0.5%, 0.1%, and 0.01% doses (Atropine for the Treatment of Myopia 2 小児近視治療用アトロピンについて、アトロピン0.5%、0.1%、及び0.01%を点眼した場合の安全性及び効能（進行度2の近視治療にアトロピンを使用した場合）. Ophthalmology. 2012 Feb (眼科：2012年2月) ;119(2):357-54. doi: 10.1016/j.ophtha.2011.07.031.
- Tong L, Huang XL, Koh AL, Zhang X, Tan DT, Chua WH. Atropine for the treatment of childhood myopia: effect on myopia progression after cessation of atropine (小児近視治療用アトロピンについて、アトロピン点眼終了後の近視進行に対する効能) Ophthalmology. 2009 Mar (眼科：2009年3月) ;116(3):572-9. doi: 10.1016/j.ophtha.2008.10.020 Epub 2009 Jan 22. Chua WH, Balakrishnan V, Chan YH, Tong L, Ling Y, Quah BL, Tan D. Atropine for the treatment of childhood myopia (小児近視治療用アトロピンについて) Ophthalmology. 2006 Dec (眼科：2006年12月) ;113(12):2285-91. Epub 2006 Sep 25.